

# 営農管理システムZ-GISの概要について

Z-GISはインターネット上の電子地図とMicrosoft Excelのワークシートを結びつけたGIS（地理情報システム）で、土地所有者や作付け品目・品種、生産履歴など、圃場に関する情報管理の効率化を目指して、平成30年4月にリリースした。

## 1. Z-GISの特長

### (1) データをMicrosoft Excelで保管・管理

Z-GISはMicrosoft Excelを利用しているので入力しやすく自由度が高い。また、CSV形式でデータ出力できる他のシステムとの連携が可能である。

### (2) さまざまな営農管理情報を地図上に表示

作物名ごとに圃場を色分けする、栽培面積・品種などの文字情報を地図上に表示するなど、電子地図を用いた様々な表現が可能である。

### (3) 圃場地図の印刷

大判プリンタがあればポスターサイズの圃場地図が印刷できる。また大きな地図をA4サイズに分割し、小型プリンタで印刷することもできる。

### (4) ファイル保管・共有

Z-GISで作成したデータは専用のクラウドストレージに保管する。クラウドを使い、パソコン、スマートフォン、タブレットでデータを操作することができ、ファイルを複数の人が共有できる。

### (5) 圃場数にもとづく利用料金

Z-GISの利用料金は圃場数にもとづいて設定されている。100圃場以下の小規模な経営体であれば年額2,400円から利用できる。圃場数が2,000を超えると一律年額48,000円となり、大規模な集落営農やJAも利用しやすい料金となっている。

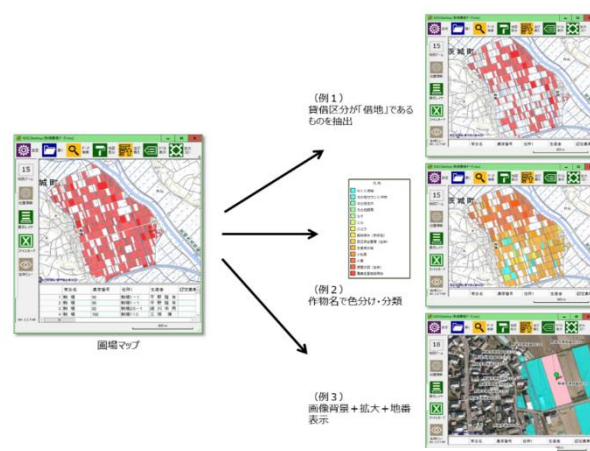


図1. Z-GISの活用イメージ

表1. Z-GISの利用料金（税別）

登録圃場数	利用料金（年額）
0~1,999	100圃場ごとに2,400円
2,000以上	一律48,000円